

ソフィア経済人倶楽部の設立趣意書

母校上智大学は、建学の精神である「キリスト教ヒューマニズム」のもと、全世界的・地球的展望に立った人間教育を実践する国際性豊かな大学として、他大学にはないユニークな特徴を持ち、これまでも、世界中の様々な分野で、また日本の産業経済界で活躍する多くの人材を輩出してきました。

近年のグローバル化の進展と共に、世界各国の経済産業分野でも猛烈なスピードで変革が進んでおり、日本の経済産業界も、この変化に対応すべく業種や世代を超えた人々による想像力の発揮と叡智の結束が求められています。

今般、この結束の一つの形として「ソフィア経済人倶楽部」を立ち上げることに致しました。経鷲会は大学創立と同時に創設された伝統ある経済学部と同窓会ではありますが、昨年来、その活動の一環として「経鷲会マネジメントの会」を発足させ検討を重ねて参りました。この度、これを更に飛躍させ、学部の垣根を超えた母校卒業生全体の組織として発展させることにしました。

ソフィア経済人倶楽部は上智大学出身で、産業経済界を始め各分野で活躍されている経営者、管理者、専門職並びに勇退されたソフィアンを対象とし、会員相互の知的啓発、相互の協力並びに親睦を図り、母校上智大学の発展に寄与し、グローバルな産業経済の発展、建学の精神に基づく社会貢献等を行うことを目的とします。

倶楽部の運営は、経鷲会を中心とする各委員会が企画立案を行い、当倶楽部の理事会での決議を経て自主的に行われます。各委員会は、学部を超えた会員の参画を求めます。活動としては、講演会、産学連携の公開講座、研修会、夕食会、親睦会、ゴルフ会、賀詞交換会、朝食勉強会、クリスマス会、会員名簿の発行などを行うことを検討致します。

平成21年9月吉日 ソフィア経済人倶楽部 会長 濱口敏行